

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査結果報告書がまとまりました！

別添資料



第2期計画の特徴

第2期の計画は、区内11地区の実情を踏まえて区民と協働で策定する「地区別計画」と第1期計画の振り返り評価を踏まえての「区計画」で構成しています。

「地区別計画」は、それぞれの地区の特徴をふまえた各種の目標と、地域課題の解決のための具体的な取組をまとめています。

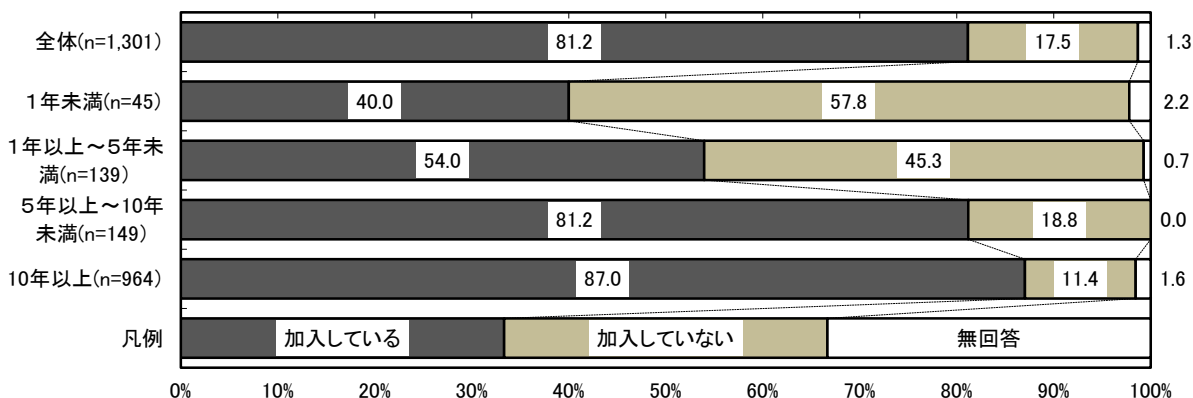
「区計画」は、地区を越えた、区域で取り組む目標として、第1期計画で定めた5つの基本目標を継承し、新たに緑区の「目指す姿」を設定しています。地域や区役所、区社協及び地域ケアプラザが目標実現に向けて行う取組や方向性を提示しています。

調査結果

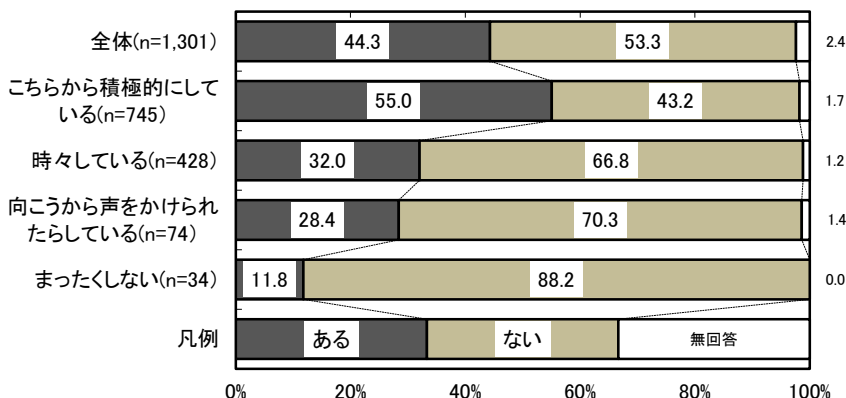
※アンケート結果は、単純集計と、複数項目のクロス集計を行いましたので、特徴的なものを抜粋してご紹介します。

地域でのつながり（地域とのかかわり）について

問4【居住年数】×問10【自治会加入】では、居住年数が長いほど自治会に加入しています。居住年数10年以上で87%、5年以上で81.2%に対し、1～5年未満では54%にとどまり、5年未満と5年以上で加入状況が大きく違います。



問9【あいさつ・声かけ】×問11【助け合いの経験】では、あいさつや声かけに積極的な人は、助け合いの経験がある人が多く、地域とのかかわりがあることがうかがえます。

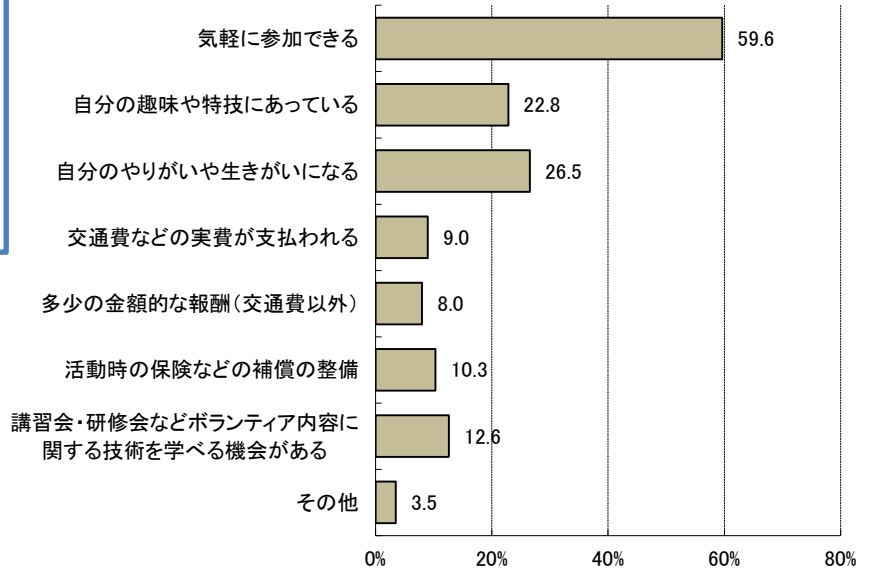


自由記載意見より

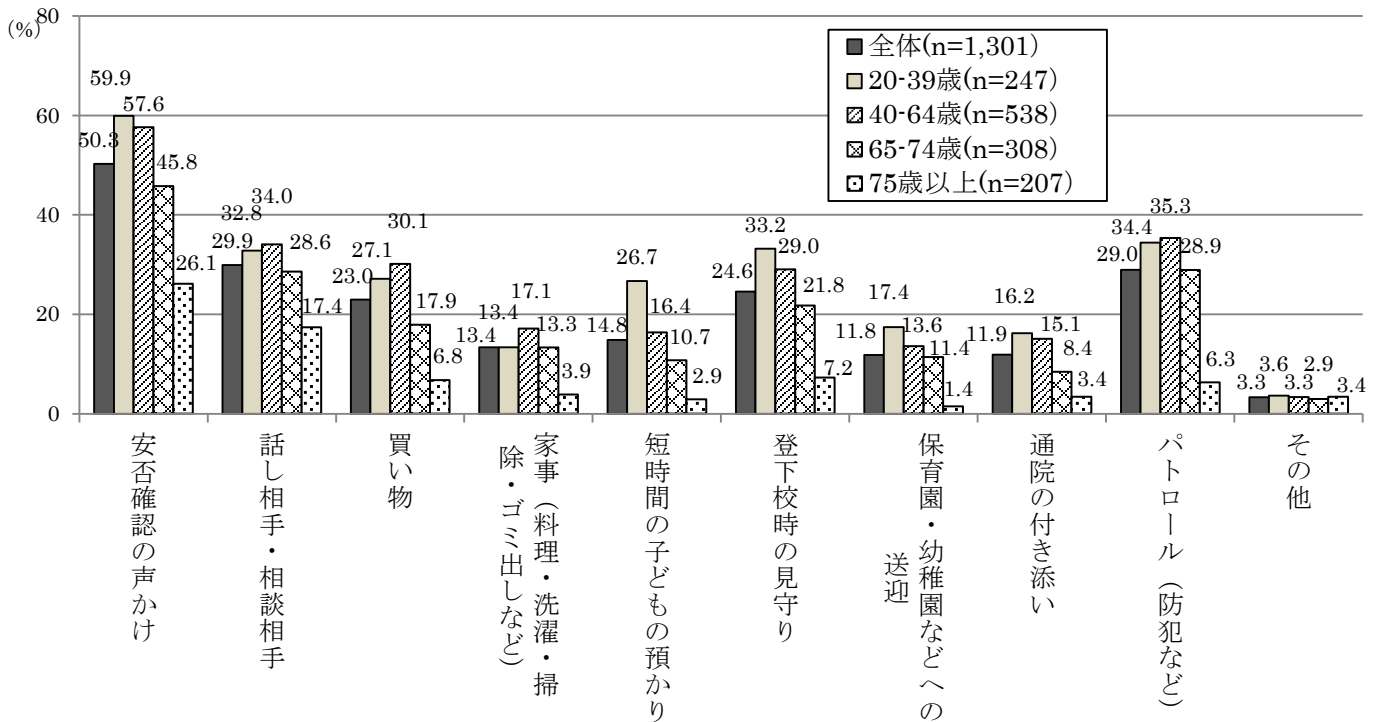
●本当に様々な地域の活動に積極的に参加しているみなさん、それから関わり合いに感謝するとともに大切に思います。自治会の役員になるまでは分かりませんが、とても大切であり、これからもずっと関わり合いながら生活していきたいと思っています。何かできることを見つけて、積極的に取り組んでいきたいと思っています。
(40代男性)

地域でのボランティア活動への参加（人材・担い手）について

問 14【地域のボランティア活動に参加するための条件】では、「気軽に参加できる」が過半数に達し、「自分のやりがいや生きがいになる」、「自分の趣味や特技にあっている」など内容に対する条件も大切であることが分かります。



問 3【年齢区分】×問 13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2) 将来(頼まれたら)できそうなものでは、「安否確認の声かけ」や「短時間の子どもの預かり」など多くの項目で、年齢が若いほど「できそう」という回答の割合が高く、今後の担い手として期待されます。

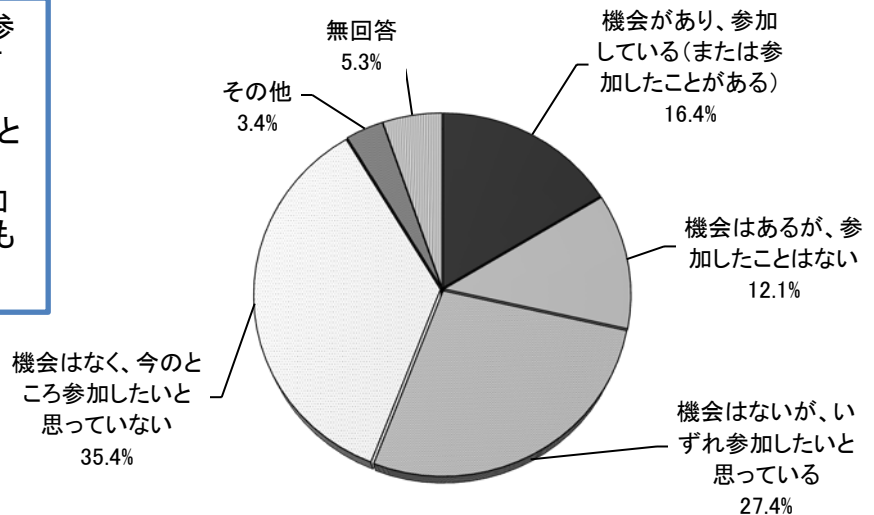


自由記載意見より

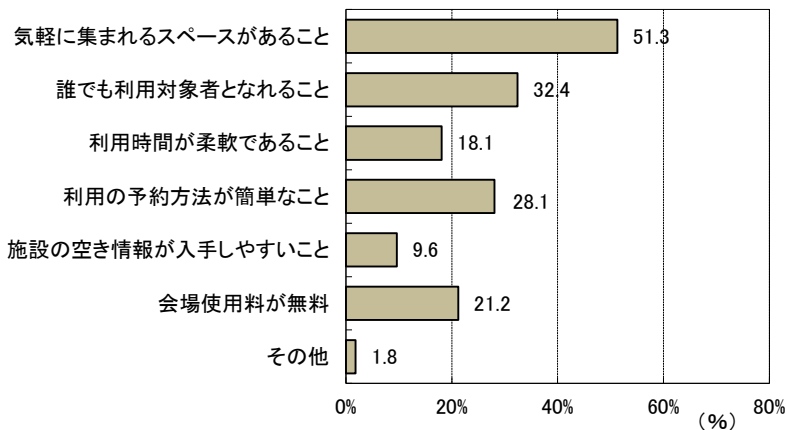
- お世話役の献身的な活動に敬意を表し、感謝しています。但し自分ではなかなかできません。お世話役やリーダーを積極的に区が養成または発掘する工夫が必要では。(70代男性)
- 子どもが学校へ通っている間はなんとなくですが地域との関わりに携わっている気がしますが、10年後、夫婦だけになった時、地域の情報や繋がりがなくなってしまうように感じています。仕事に出ていると、なかなか地域との関わりが無いので…。日ごろのお付き合いや助け合いが大切なのかも。(40代女性)
- 多くの方が気軽に参加できるボランティアのシステムづくり、インターネットを活用したボランティア登録・募集など、短時間でも参加可能なシステムづくり等が必要だと思います。(40代女性)

地域活動のための機会・場について

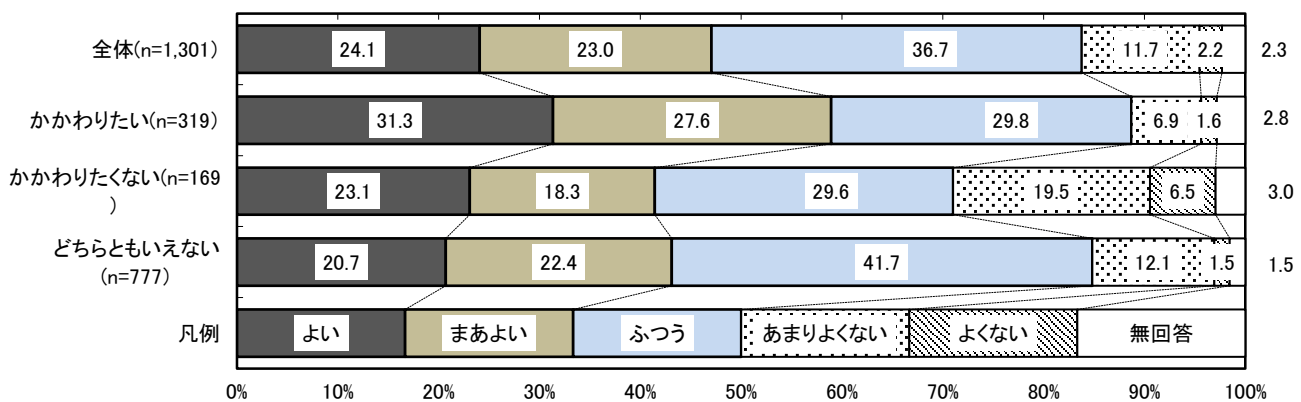
問 15【活動参加の機会】では、参加機会の有無と、参加意思の有無を同時にたずねたところ、「機会はなく、今のところ参加したいと思っていない」が一番多いものの、「機会はありますが、いずれ参加したいと思っている」と答えた人も多くいることが分かりました。



問 16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】では、「気軽に集まれるスペースがあること」、「誰でも利用対象者となれること」などの利便性や自由さを求める回答が多く集まりました。



問 12【地域活動への参加意向】×問 24【現在の健康状態】では、「かかわりたい」人では、「よい」「まあよい」の回答の割合が高くなっており、自分の健康に関する意識と地域活動への参加意向に関連があると考えられます。



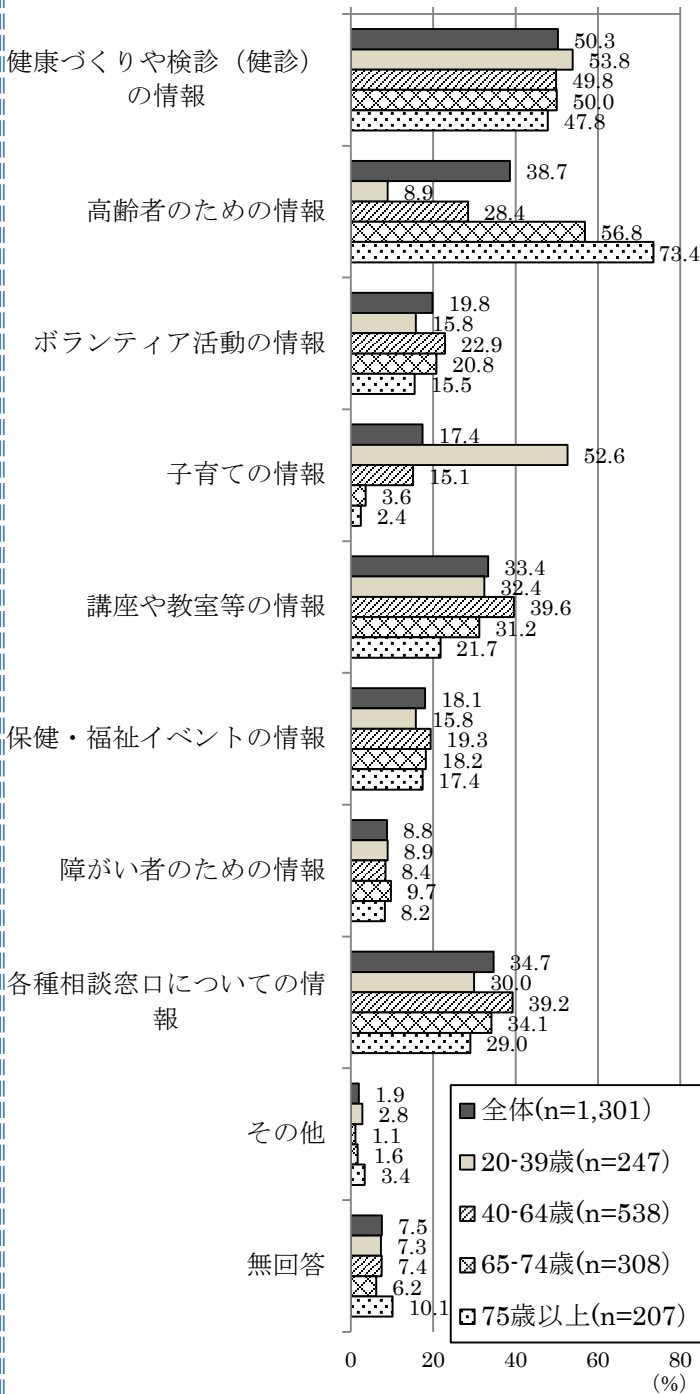
自由記載意見より

- 各自が健康であることが一番大事だと思いますので、そのためには運動する場があって、いつでもできる場所が必要かなと思います。(70代女性)
- 遊休農地を利用した健康づくり及び交流の場を行政が率先して作ると良いのでは。農家も助かるし、高齢者も喜ぶと思います。作った野菜を販売できたりすると、さらに良いと思います。(40代男性)

福祉保健に関する情報について

問 3【年齢区分】×問 18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】では、年代により知りたい情報に差があることが分かります。

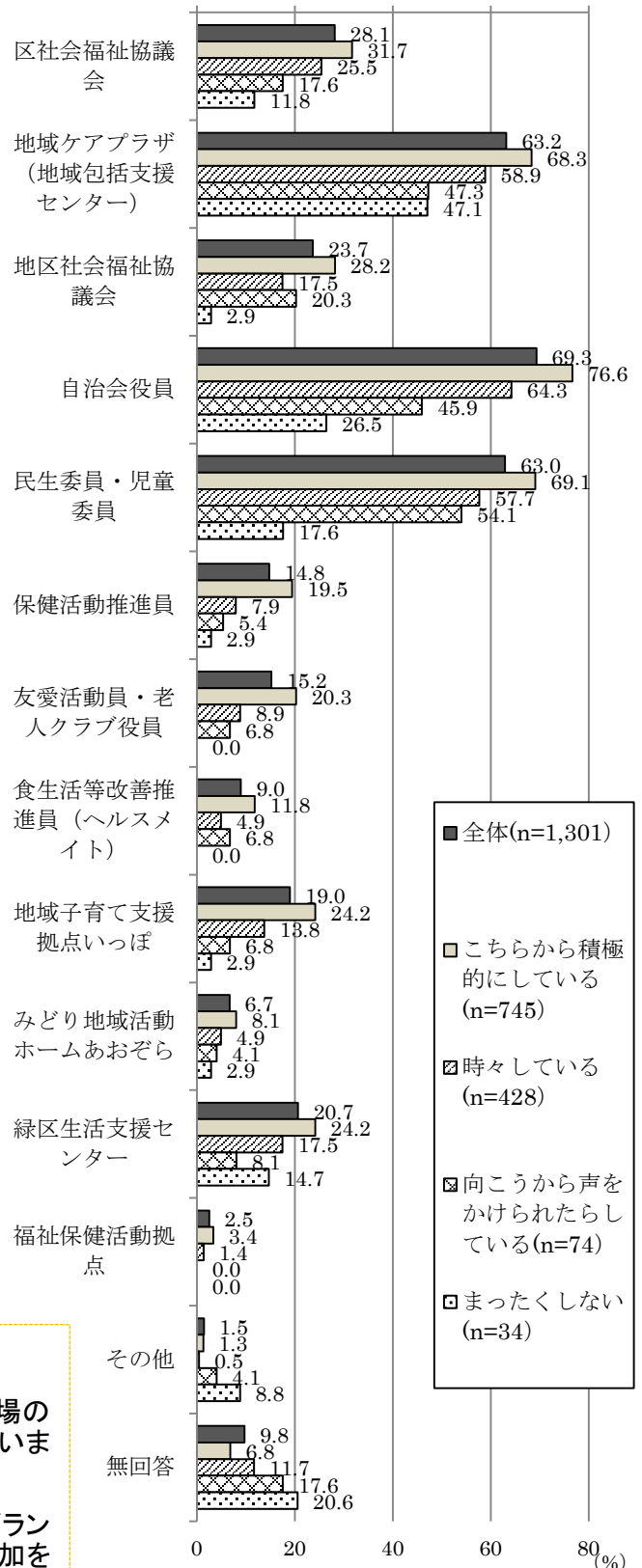
問 9【あいさつ・声かけ】×問 17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】では、あいさつや声かけをしている人ほど、地域の福祉保健に関する情報を多く知っています。



自由記載意見より

● 高齢者が健康でありたいと思う気持ちを実践できる場の提供や、そのための情報を知らせていただければと思います。(80代男性)

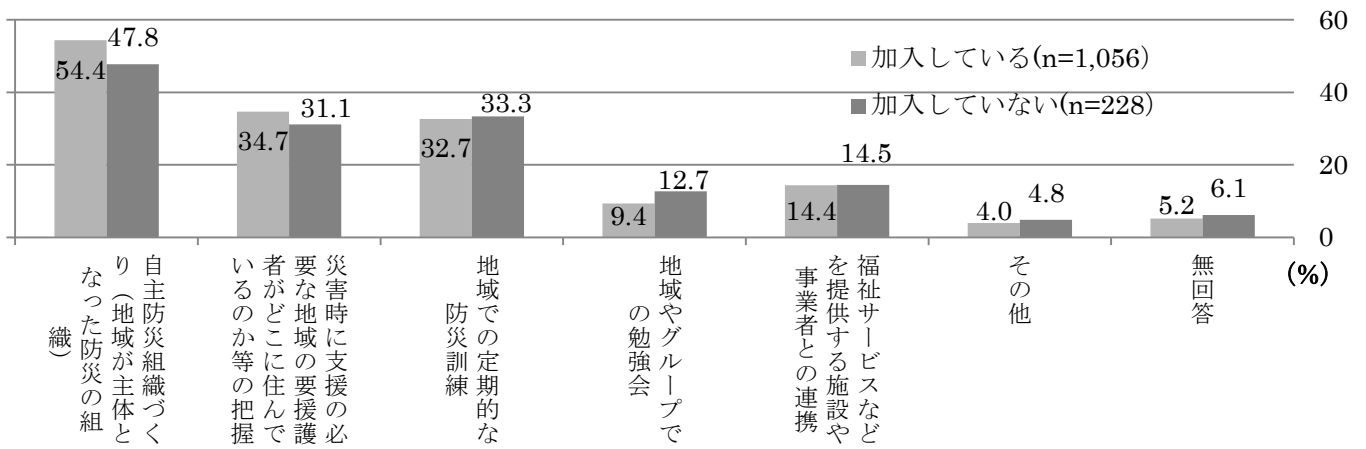
● シニアボランティアポイントなど、先輩の人たちがボランティアに参加しやすい取組があるが、もっと若者の参加を促すことも必要だと思う。私は、20代でボランティアなどに参加したいと思うが、どんなボランティアがあるのかななどの情報がもっとほしい。(20代男性)



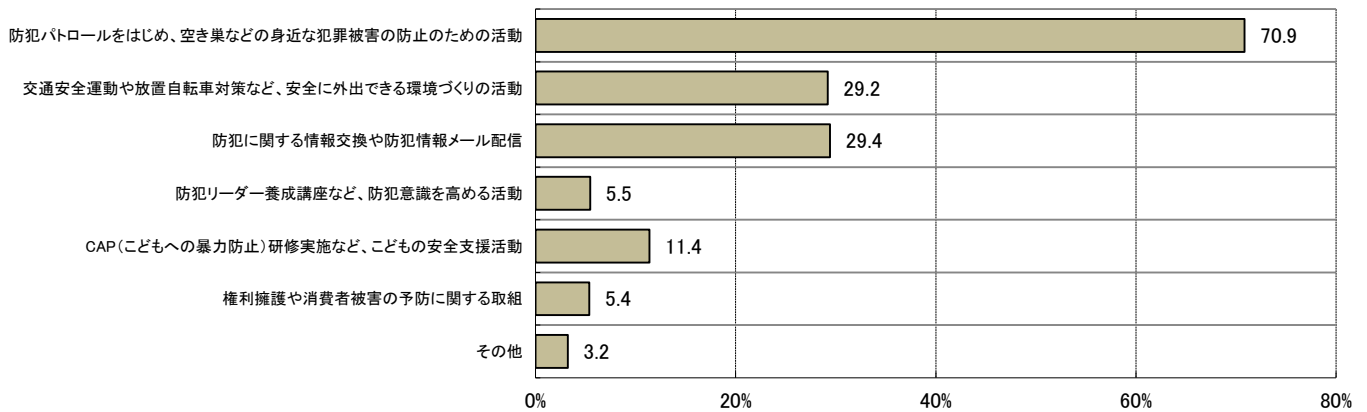
■ 全体(n=1,301)
 □ こちらから積極的にしている(n=745)
 ▨ 時々している(n=428)
 ▩ 向こうから声をかけられたらしている(n=74)
 □ まったくしない(n=34)

安全・安心・健康について

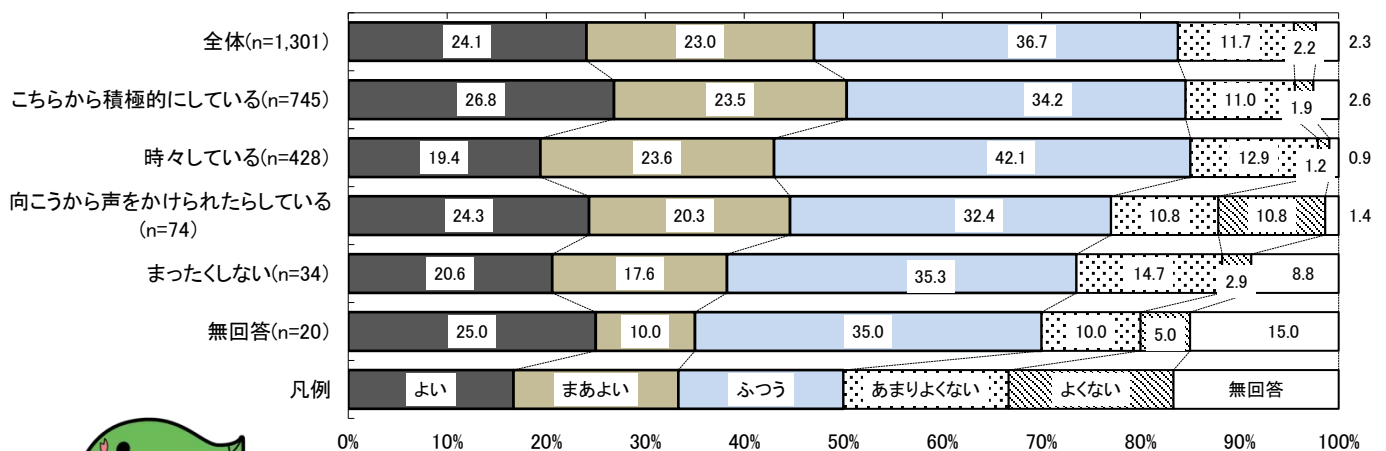
問 10【自治会加入状況】×問 22【「災害時に住民がささえあい地域づくり」のために日頃から必要な取組】では、自治会加入者は防災の取組の必要性をより感じています。



問 23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】では、「身近な犯罪被害防止」が多く、他に環境づくりや情報交換・情報提供などの体制整備が次いであげられています。



問 9【あいさつ・声かけ】×問 24【現在の健康状態】では、あいさつや声かけをしている人ほど、自分が健康であるという認識を持てているか、健康上の問題がない「ふつう」と答えています。



自由記載意見より

● 地区センターでの高齢者体操や、シニア大学に参加しています。とても良い時間を過ごしており、今後も続けられるよう、健康には留意したいと思います。緑公会堂における講演会などにも参加しております。(70代女性)